

平成 30 年度 第 3 回浦安市文化財審議会議事録（議事要旨）

- 1 開催日時 平成 31 年 2 月 20 日（水） 午前 10 時～12 時 15 分
- 2 開催場所 郷土博物館 視聴覚室
- 3 出席者
（委員）菊池眞太郎委員長、大塚三枝子副委員長、吉田敦委員、明保治男委員、
 穎原澄子委員、大村洋子委員、森田信雄委員
（事務局）八田生涯学習部長、五十嵐郷土博物館長、島村、尾上（記録）
（傍聴人）なし

4 議 事

報告事項

- (1) 清瀧神社本殿改修工事について（現状報告）
- (2) 旧大塚家住宅、屋根差し茅工事について（現状報告）
- (3) 「ふるさと浦安作品展」の開催結果報告
- (4) 新規刊行物（『浦安市郷土博物館 屋外展示場 展示解説英語文例集』）について

5 会議経過

会議に先立ち、菊池委員長の挨拶後、教育委員会を代表して八田生涯学習部長があいさつを行った。

報告事項

(1) 清瀧神社本殿改修工事について（現状報告）

配布資料に基づき、事務局より説明した。
説明後、現地視察。視察後、質疑応答。
主な質疑・応答については、下記のとおり。

- (委員) 覆屋にガラスが入るのか。入ると照り返しなどで見えにくくなってしまいうので、ガラス以外の方法がよい。本殿の覆屋が拝殿の上に乗るように見える。水はけは当然考えているだろうが、拝殿自体も明治時代の建造物で、十分文化財になる価値のあるものである。本殿を保護するとともに拝殿にも気を付けていただけたらと思う。
- (事務局) 神社側、施工業者側にお伝えする。工事が入るのが6月からとなっているが、随時調整していくので、気が付いた点は後日でも構わないのでお知らせいただきたい。
- (委員) 修復までいかなくても、汚れを落とす作業などは行わないのか。
- (事務局) 14 ページ部分に、彫刻部分「22. 欠損している箇所は再現」とあるが、詳細を確認してみたい。「床下清掃、埃落とし程度」ともあるが、どの程度、クリーニングをするのか、確認する。
- (委員長) 専門業者なのでノウハウはあると思うが、文化財なので連絡調整は密にやっていただきたい。
- (委員) 工事はいつまでか。来年の三社祭には間に合うのか。

- (事務局) 工事は12月までで、三社祭に間に合うように実施すると聞いている。
- (委員長) 施工業者に修復前、修復後と写真などを提供していただくとありがたい。今後の資料になると思う。これだけのものが浦安にあるというのを周知するにも役立つだろう。
- (委員) 氏神さまとして、境川を境にして南側が清瀧神社、北側が豊受神社、当島地区は稲荷神社となっており、清瀧神社の範囲は昔に比べて広がっている。舞浜地区も清瀧神社の範囲となっており、人口増とともに参拝者も増えているのが現状。象徴的な神社がもっときれいに、歴史的にも風格ある神社となるように、と思っている。

報告事項

(2) 旧大塚家住宅、屋根差し茅工事について(現状報告)

配布資料に基づき、事務局より説明した。
説明後、現地視察。質疑については、特になし。

報告事項

(3) 「ふるさと浦安作品展」の開催結果報告

配布資料に基づき、事務局より説明した。
主な質疑・応答については、下記のとおり。

- (委員) 受賞者の概要発表とはどのようなものか。
- (事務局) 市長賞、教育長賞を受賞した8名が、きっかけやプロセス、結果などを報告している。最近は提案型のものも多い。
- (委員) パワーポイントなどで報告したら面白い。
- (事務局) 一人あたりの発表時間が短く、ポイント部分は館で用意した写真などを画面に表示して、発表時に紹介している。
- (委員) かつて受賞した方、高校生や大学生などの発表などがあると、教育的効果は上がると思う。
- (事務局) 継続して調べる子もおり、単年度で終わらずになっているケースもある。また直接の卒業生ではないが、今回の展示会に合わせて千葉大学の学生さんたちが制作した旧大塚家模型の優秀作品を廊下で展示していただいた。開催結果には入っていないが、新たな取り組みとして報告しておきたい。
- (委員) 各作品ともテーマに基づいて最後までまとめていくことができおり、すごいと思う。博物館での教育の成果であると感じている。さきほど海苔の授業を拝見したが、博物館で上手に学校教員の力を活かしていただいていると感じた。博物館で行われている授業(説明)も、ものすごくうまいが、教員の力が活かされるのも、博物館にストックしてある素晴らしい教材があるからである。博物館と学校、学校教育と生涯学習の連携がとれていて、浦安の教育はよい形で来ており、ぜひこの流れを継続してほしいと思う。
- (委員) 大学生でも、かつて小学校、中学校時代に経験したという生徒がいる。途中切れてしまっているのがもったいないと感じた。このようなときに

- 少しでも出てくると違うと思う。
- (委員長) 印刷物には残らないとすると、展示会の期間に市役所の各部署の人にも見ていただけたら、と思う。
- (委員) フィールドワークをしていない作品はないのか。
- (委員) コピー&ペーストだけの作品などは出ていない。インターネットは上手に活用しており、いい流れになっていると思う。
- (委員) 学校ごとのばらつきは少なくなったように見える。
- (委員) 小学校も中学校も、生徒たちは忙しい。それでも夏休み、作品を仕上げるのは大変なこと。少しずつでも増えてきていると思う。中学生は2年生の地理の分野で地域学習がある。そこで調査活動が入ってくるので、うまくリンクしてやっていると思う。市の方でも、きちんと評価して、市長や教育長から賞状をもらえるなど、大事なこと、素晴らしいことだと積み重ねてくださっているのだから、学校の先生方もよい学習の機会としての意味を理解してくださっているのだと思う。
- (委員長) 市長から直接賞状を受け取ることができるなど、すごいことだと思う。ありがたいことである。

報告事項

(4) 新規刊行物（『浦安市郷土博物館 屋外展示場 展示解説英語文例集』）について

配布資料に基づき、事務局より説明した。
主な質疑・応答については、下記のとおり。

- (委員) 作り手側の苦労話などがあるとよい。
- (委員長) 浦安では、英語を使ったことのある人が多く、ボランティアも集まったというのは驚いた。
- (委員) 単なる英語の解説書というのではなく、このテキストを使って市民が学び、活動を広めていくという方向は、ほかの博物館では聞いたことがない。パネルを英文にするなどの工夫はあるが、市民ボランティアの方とともに作ったという例は全国でも初めてではないか。ぜひほかの多くの博物館にも伝えてほしい。
- (委員) 例文が短く、すぐくわかりやすい。
- (委員長) 博物館でも多言語化との流れが出ている。この教材を土台に、より一層よいものが作れるよう、がんばっていただきたい。

■次回の会議

次年度、平成 31 年度第 1 回浦安市文化財審議会は、新年度 5 月 15 日（水）を予定。

以上をもって、平成 30 年度第 3 回浦安市文化財審議会は、閉会した。